

太田・黒澤賞

※1951年度～1962年度は上野・太田賞、1963年度～1995年度は太田賞

	著者（敬称略）	題名
1951年度	福田誠一	操業原価計算論
	山下勝治	損益計算論
1952年度	馬場克三	減価償却論
	黒澤清	近代会计学
1953年度	宮上一男	工業会計制度の研究
	青木倫太郎	管理会計
1954年度	久保田音二郎	間接費計算論
	土岐政蔵	計算価格論
1955年度	岩田巖	会計士監査
1956年度	溝口一雄	経営費用論
1957年度	片岡義雄	パチョーリ簿記論の研究
1958年度	木内佳市	減価償却論
	丹波康太郎	資本会計
1959年度	谷端長	動的会計論の構造
	渡辺進	棚卸資産会計
1960年度	該当なし	
1961年度	青木茂男	改訂管理会計論
	中村万次	減価償却政策
1962年度	能勢信子	社会会計論
	岡本愛次	ドイツ会計学史
	山辺六郎	原価計算論
	松本雅男	標準原価計算論

1963年度	片野一郎	貨幣価値変動会計
1964年度	中山隆祐	実践標準原価計算
	山榘忠恕	近代会計理論
1965年度	小島男佐夫	簿記史論考
	会田義雄	会社財務会計
1966年度	増谷裕久	減価償却会計
	青木脩	フランス会计学
	高田正淳	収支損益計算論
	木村和三郎	新版減価償却論
1967年度	浅羽二郎	ドイツ会计学序説
	近沢弘治	マウツの監査論
	若杉明	企業会計基準の構造
1968年度	宮本匡章	無効費用の理論
	森実	近代監査の理論と制度
	井尻雄士	会計測定の基本
1969年度	山形休司	原価理論研究
	松尾憲橘	社会主義会计学の基礎
	青柳文司	会计学の原理
1970年度	斎藤昭雄	フランス会計理論
	三雲宗敏	費用理論の展開と原価理論
	茂木虎雄	近代会計成立史論
	新井清光	会計公準論
1971年度	佐藤孝一	近代監査論
	今井忍	情報化社会の原価管理
	中島省吾	会計基準の理論
	可児島俊雄	経営監査論

1972年度	岩村一夫	監査報告書の実態分析
	辻厚生	管理会計発達史論
	中野勲	会計利益測定論
1973年度	久野光朗	ギルマン会計学(下)
	小林哲夫	原価理論
1974年度	小野二郎	企業評価論
	山上達人	生産性分析の理論
	中村宣一郎	企業利潤論序説
1975年度	井上康男	不確実性と資本予算
	平林喜博	費用理論序説
1976年度	吉田彰	意思決定のための管理会計
	西川義朗	公企業会計
1977年度	野村健太郎	連結会計論
1978年度	河原一夫	江戸時代の帳合法
	安平昭二	標準勘定組織の展開
	伊丹敬之	Adaptive Behavior : Management Control and Information Analysis
1979年度	原田富士雄	情報会計論
1980年度	森田哲彌	価格変動会計論
1981年度	千葉準一	会計の基礎構造
	泉谷勝美	複式簿記生成史論
1982年度	土方久	近代会計の基礎理論
	黒田全紀	国際コンツェルン決算書
1983年度	加古宜士	物価変動会計論
	遠藤久夫	現代監査の原理

1984年度	齋藤静樹	資産再評価の研究
	飯塚毅	正規の簿記の諸原則
	谷武幸	事業部業績管理会計の基礎
1985年度	武田隆二	営業報告書・計算書類の総合分析と事例
	井上良二	会計社会学
1986年度	平松一夫	年次報告書会計
	安藤英義	商法会計制度論
1987年度	山地秀俊	会計情報公開制度の実証研究
	新田忠誓	動的貸借対照表原理
1988年度	小林健吾	予算管理発達史-歴史から現在へ
	久野秀男	わが国財務諸表制度生成史の研究
1989年度	宮本寛爾	多国籍企業管理会計
	戸田博之	収支的簿記体系の研究
1990年度	加登豊	管理会計研究の系譜
1991年度	平敷慶武	動的低価基準論
	醍醐聡	日本の企業会計
	桜井久勝	会計利益情報の有用性
1992年度	辻山栄子	所得概念と会計測定
	伏見多美雄	経営の戦略管理会計
	中野常男	会計理論生成史
1993年度	西川登	三井家勘定管見
	伊藤博	管理会計の世紀
	鳥羽至英	監査基準の基礎

1994年度	末政芳信	IBM社のセグメント財務情報
	山浦久司	英国株式会社会計制度論
	廣本敏郎	米国管理会計論発達史
1995年度	広瀬義州	会計基準論
	千代田邦夫	アメリカ監査論
	櫻井通晴	間接費の管理
1996年度	西澤脩	経営管理会計
	内藤文雄	監査判断形成論
	古賀智敏	デリバティブ会計
1997年度	五十嵐邦正	静的貸借対照表論の研究
	伊藤邦雄	会計制度のダイナミズム
1998年度	岡田依里	日本の会計と会計環境
	田中隆雄	管理会計の知見
	藤井秀樹	現代企業会計論
1999年度	弥永真生	デリバティブと企業会計法
	河野正男	生態会計論
2000年度	尾畑裕	ドイツ原価理論学説史
	須田一幸	財務会計の機能 - 理論と実証
	徳賀芳弘	国際会計 - 相違と調和
2001年度	郡司健	連結会計制度論 - ドイツ連結会計報告の国際化対応
	百合草裕康	キャッシュ・フロー会計情報の有用性
	万代勝信	現代会計の本質と職能 - 歴史のおよび計算構造的な研究
2002年度	宮崎修行	統合的環境会計論
	山本達司	企業戦略評価の理論と会計情報

2003年度	浦崎直浩	公正価値会計
	與三野禎倫	ストック・オプション会計と公正価値測定
	吉田栄介	持続的競争優位をもたらす原価企画能力
2004年度	清水泰洋	アメリカの暖簾会計 - 理論・制度・実務
	富岡幸雄	税務会計学原理
	三矢裕	アメーバ経営論 - ミニ・プロフィット・センターのメカニズムの導入
2005年度	該当なし	
2006年度	豊島義一	長崎造船所原価計算生成史
	堀江正之	IT保証の概念フレームワーク - ITリスクからのアプローチ -
2007年度	荒井耕	医療原価計算 - 先駆的な英米医療界からの示唆
2008年度	石川博行	配当政策の実証分析
	桑原正行	アメリカ会計理論発達史 - 資本主理論と近代会計学の成立
2009年度	音川和久	投資家行動の実証分析 - マーケット・マイクロストラクチャーに基づく会計学研究
	角ヶ谷典幸	割引現在価値会計論
	米山正樹	会計基準の整合性分析 - 実証研究との接点を求めて
2010年度	首藤昭信	日本企業の利益調整 - 理論と実証
	山内暁	暖簾の会計
	若林公美	包括利益の実証研究
2011年度	片岡洋人	製品原価計算論
	坂本孝司	会計制度の解明 - ドイツとの比較による日本のグランドデザイン
	田村威文	ゲーム理論で考える企業会計 - 会計操作・会計規制・会計制度
2012年度	石内孔治	経営分析の新展開
	越智信仁	IFRS公正価値情報の測定と監査 - 見積り・予測・リスク情報拡大への対応

2013年度	大日方隆	利益率の持続性と平均回帰
	福川裕徳	監査判断の実証分析
2014年度	奥村雅史	利益情報の訂正と株式市場
	諸藤裕美	自律的組織の管理会計 - 原価企画の進化
2015年度	該当なし	
2016年度	大石桂一	会計規制の研究
	薄井彰	会計制度の経済分析
2017年度	該当なし	
2018年度	浅野敬志	会計情報と資本市場 - 変容の分析と影響 -
2019年度	大下勇二	連単分離の会計システム - フランスにおける2つの会計標準化
	木村晃久	損益の区分シフト - 経常利益の調整実態と株価への影響
2020年度	該当なし	
2021年度	野間幹晴	退職給付に係る負債と企業行動 - 内部負債の実証分析 -
2022年度	高田知実	保守主義会計 - 実態と経済的機能の実証分析
	山口朋泰	日本企業の利益マネジメント - 実体的裁量行動の実証分析
2023年度	該当なし	
2024年度	大鹿智基	非財務情報の意思決定有用性 - 情報利用者による企業価値とサステナビリティの評価
	小形健介	IASBの基準開発メカニズム - 「組織存続の論理」からの究明
	永見尊	AUDIT INQUIRY 質問の理論と技術